

ゴミで分かる増水の水、心ない投棄の実態

- ・ 日時 : 2026 年 9 月 17 日 (木) 11 : 30 ~ 12 : 15
- ・ 場所 : 宝塚市役所周辺の武庫川河川敷
- ・ 参加者 : 5 名

昨日の雨で武庫川はかなり増水し、護岸付近に多数のペットボトル、飲料缶、ト口箱が流れ着いていた。花火の跡があったが、片付ける意思が全く感じられず、放置された状態に悲しくなった。

驚いたのは、2 Kg の小袋に入った玄米が全部で 20 Kg 程度、まとめて捨てられていたこと。一部の小袋が破れて、異臭を放っていた。

ゴミの処理は、清掃活動のボトルネックの一つだが、ナチュラルは宝塚市役所に連絡して最終処分してもらうルートを作っている。

毎回、収集物を前に記念撮影するが、散策や作業中の方に撮影をお願いしている。今日は親子連れに、「ご苦労様です」とにこやかに応じてもらえた。ささやかだが、地域の方にわれわれの活動、環境保全への理解を深めてもらう機会になっている。

活動後は、市役所食堂でランチしながら歓談する。今日は絶好の活動日和だったが、決して無理せず、出来る範囲で、軽い運動も兼ね、楽しみながら行って継続していきたい。



左：本日の収集物を前に記念撮影



右：四季折々の自然に触れるのも楽しみ。ザク口の緑をバックに、サルスベリのピンクが映える



上：護岸に押し寄せたゴミ類

上から花火の袋、花火跡、投棄された米袋

